2012年5月24日
株式会社エアーリンク

～自転車を利用している全国の既婚女性300人にアンケートを実施～

ほぼ2人に1人が「自転車保険を知らない」と回答！
知っていた人の約8割は「自転車保険に加入したい」

普及の壁は「出費」と「任意」。しかし、それも解消されようとしています。自転車保険の現状とは・・・

自転車が関係する事故の増加を受け、道路交通法の運用が見直されたのは記憶に新しいところです。しかし、歩道と車道に潜む危険性、自転車専用レーンの未整備など、多くの課題が残っています。自転車保険もそのひとつ。万一の事故の際に役立つ保険でありながら、普及はまだまだ。そこで株式会社エアーリンクは自転車保険に関する意識調査を実施しました。

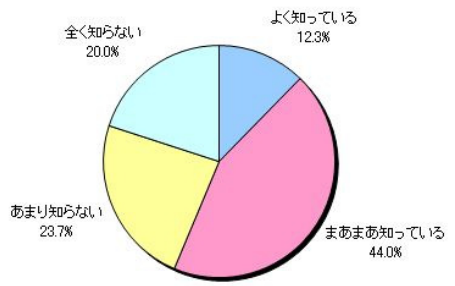
★自転車でヒヤリ！は、87.7％が経験あり

株式会社エアーリンクは、株式会社ネオマーケティングが運営するアンケート専門サイト「アイリサーチ」のWebアンケートで、「自転車保険に関する意識調査」を実施しました。調査期間は2012年5月10日(木)～11日(金)の2日間、調査対象は日本全国の28歳から49歳までの既婚女性300名。自転車を日常的に利用する世代、また家計を切り盛りするキーパーソンとして、自転車保険への意識を探りました。

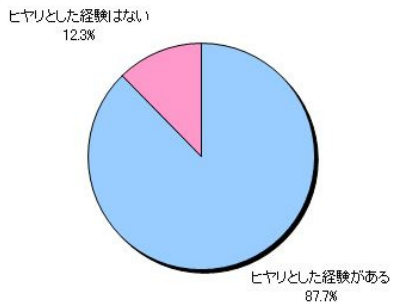
Q1「あなたは自転車保険という保険サービスを知っていますか」の質問に「よく知っている」（12.3％）と「まあまあ知っている」（44.0％）を合わせた56.3％が「知っている」と回答。「あまり知らない」（23.7％）と「全く知らない」（20.0％）を合わせた43.7％が「知らない」と答えました。ほぼ2人に1人は自転車保険のことを知らない、という現状が明らかになりました。

自転車は便利で健康的な乗り物です。通勤や買物などの際に利用する人も多いことでしょう。ただし転倒や衝突などの危険もあります。Q2「自転車の運転をしている際、身の危険を感じるなど、ヒヤリとした経験はありますか」という問いに対し、87.7％が「ヒヤリとした経験がある」と答えました。自転車には危険がいっぱい、ということがよく分かるデータです。

Q1.あなたは自転車保険という保険サービスを知っていますか。（お答えは1つ）(N=300)

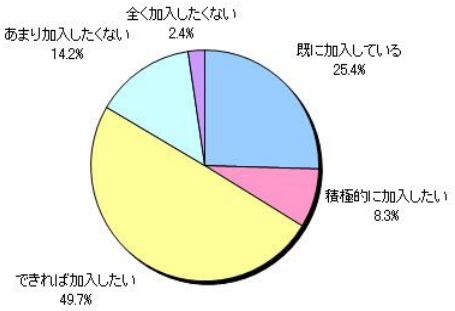


Q2.自転車の運転をしている際、身の危険を感じるなど、ヒヤリとした経験はありますか。（お答えは1つ）(N=300)



★自転車保険に肯定的な人は83.4％。加入していない理由は「出費を抑えたい」と「任意だから」

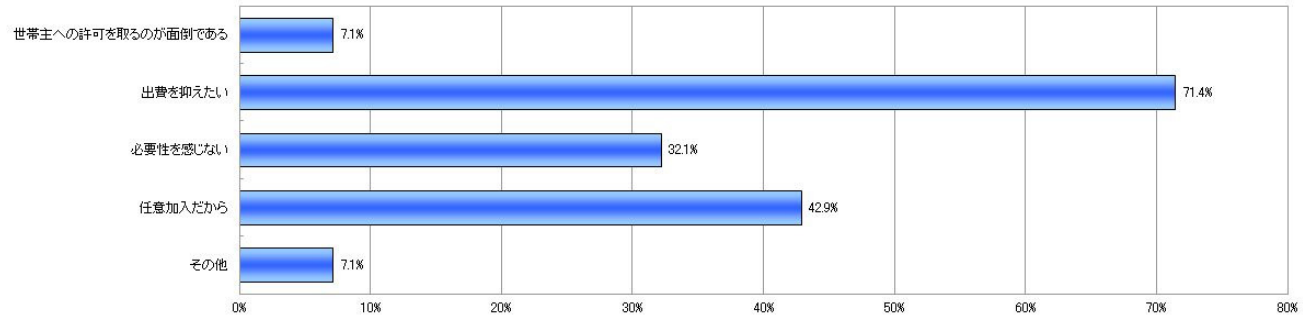
Q3.自転車保険を知っているとお答えの方にお聞きします。あなたは自転車保険に加入したいと思いますか。（お答えは1つ）(N=169)



Q3「自転車保険を知っているとお答えの方にお聞きします。あなたは自転車保険に加入したいと思いますか」への回答は「既に加入している」（25.4％）、「積極的に加入したい」（8.3％）、「できれば加入したい」（49.7%）となり、83.4%が加入に前向きでした。

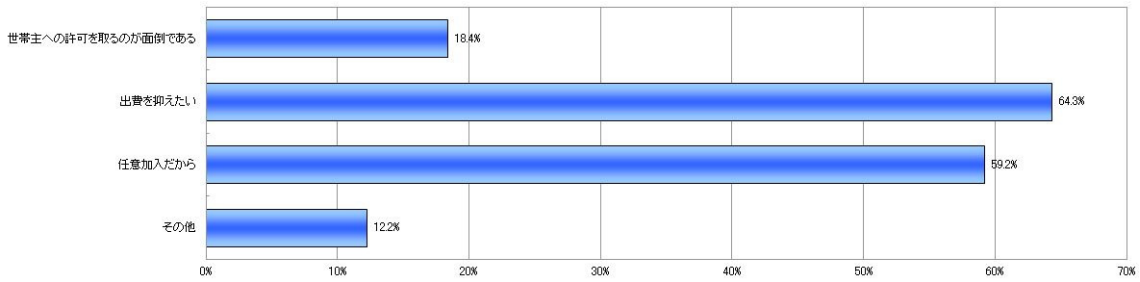
このQ3で「あまり加入したくない」（14.2%）、「全く加入したくない」（2.4%）と答えた16.6%の方々に、その理由を聞いたのが次のQ4です。下記の棒グラフをご覧ください。

Q4.前問Q3で「あまり加入したくない」または「全く加入したくない」とお答えの方にお聞きします。自転車保険に加入したくない理由をお答えください。（お答えはいくつでも）(N=28)



Q4.「前問であまり加入したくない」または「全く加入したくない」とお答えの方にお聞きします。自転車保険に加入したくない理由をお答えください」という質問（複数回答）に、「出費を抑えたい」（71.4%）、「任意加入だから」（42.9%）、「必要性を感じない」（32.1%）という回答がトップ3でした。パーセンテージから見て、自転車保険への加入を阻んでいるのは、家計における節約意識と、任意加入という選択であることが読み取れます。

Q5.前問Q3で「積極的に加入したい」または「できれば加入したい」とお答えの方にお聞きします。自転車保険に加入したいが現在は加入していない理由をお答えください。（お答えはいくつでも）(N=98)



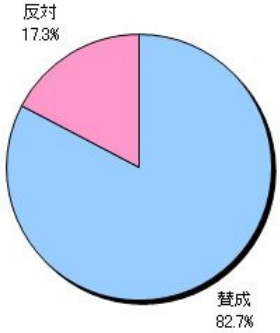
同様にQ5では、加入に肯定的でありながら、現在まで加入していない理由を聞いてみました。Q5.「前問Q3で『積極的に加入したい』または『できれば加入したい』とお答えの方にお聞きします。自転車保険に加入したいが現在は加入していない理由をお答えください」（複数回答）に、やはり「出費を抑えたい」（64.3%）、「任意加入だから」（59.2%）の回答が抜け出しています。加入したいと思っている人でも、家計の出費を抑えたいこと、任意加入であることで、ためらっているようです。

★もし自転車保険が法令による強制化になったとすると・・・？？　約8割が賛成

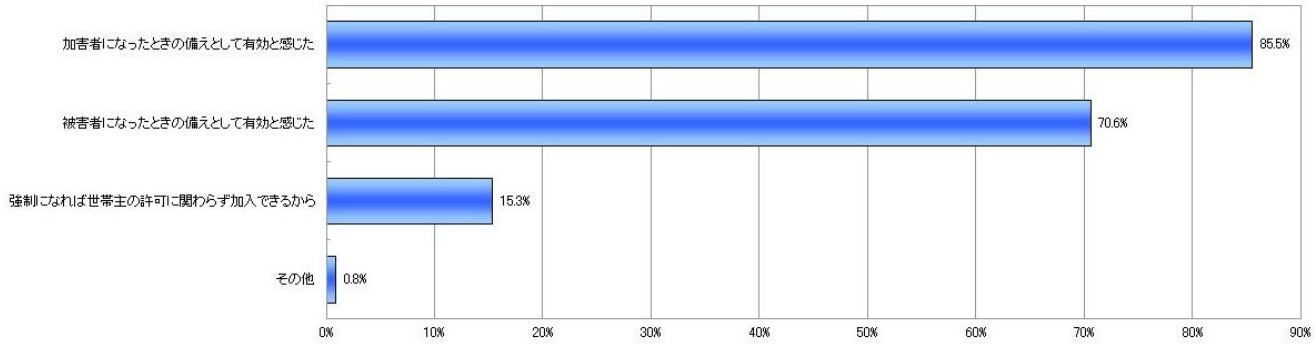
Q6「法令での自転車保険加入の強制化があるとすれば、あなたは賛成しますか、または反対しますか」への回答は、「賛成」（82%）、反対（17.3%）となりました。何かを強制されると反対したくなるのが人情ですが、さすがに万一の事故に備える自転車保険に関して世論は肯定的でした。

Q7で賛成の理由を聞くと、「加害者になったときの備えとして有効」（85.5%）、「被害者になったときの備えとして有効」（70.6%）が多数を占めています。

Q6.法令での自転車保険加入の強制化があるとすれば、あなたは賛成しますか、または反対しますか。（お答えは1つ）(N=300)



Q7.前問で「賛成」とお答えの方にお聞きします。自転車保険加入の「強制化」に賛成された理由をお答えください。（お答えはいくつでも）(N=248)



★年3,600円で家族全員１億円まで補償。ネットで簡単加入、最短３日後開始の自転車保険も！

今回の調査で、自転車を利用している既婚女性は、自転車保険の認知度がまだまだ低いものの、その必要性は理解されており、強制化への賛成も多いことが分かりました。ただし加入への壁になっているのが、家計の出費を増やしたくない、まだ任意加入ということでした。

しかし、株式会社エアーリンクの自転車保険（交通事故傷害保険）のように、加入しやすいプランもあります。賠償限度額は1億円、加害者になっても被害者になっても補償される賠償責任保険でありながら、保険料は1年間3,600円とリーズナブル。しかも家族全員（本人、配偶者、同居する親や子など）が対象になります。申し込みもフリーダイヤルやインターネットから簡単にでき、本年6月からはスマートホンでも手続きできるようになります。早ければ3日後から補償開始、クレジットカード払いなら自動継続で払い忘れ防止も可能。このように加入への壁が低くなっています。備えあれば憂いなし。この際、自転車保険への加入を、家計を切り盛りする女性の立場から家族会議に提案してみてはいかがでしょうか。